



秋田県議会 会派 いぶき  
**元気主義**

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。季節はめぐり、夏がやってききました。様々な課題が浮き彫りになった6月議会も終了し、「議論しているだけではダメだ」と、つくづく感じました。秋田の明日を輝かすものにするため、できることから始めることが大切です。

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。季節はめぐり、夏がやってききました。様々な課題が浮き彫りになった6月議会も終了し、「議論しているだけではダメだ」と、つくづく感じました。秋田の明日を輝かすものにするため、できることから始めることが大切です。

# 変化が渦巻いている秋田!

①コンビニに対する県税収納事務委託事業(2503万円) ②コンビニで自動車税の収納ができるよう、既存システムの改修に要する経費。

③子育て支援推進事業(7億6676万円) ④エコツーリズム推進事業(145万円) ⑤若手職人パワーアップ事業(138万円) ⑥若手職人の育成に向け職人O.B.を若手職人にサポーター派遣。

●農林水産委員会 専門は農林水産、食糧・食品など  
京野 公子(副委員長) いぶき 安杖 正義(自民)

●建設委員会 専門は空港、道路、河川、砂防など  
原 盛一(自民)

## 県議会メモ

### 取り下げられた南ヶ丘ニュータウン予算案

県は、販売不振の県住宅供給公社が分譲する南ヶ丘ニュータウン(秋田市上北手)の一面を買い上げ、県営住宅等を建築するための用地取得費11億3,000万円を予算案に計上していました。これを執行部は議会最終日前日になって取り下げました。住宅供給公社の救済策と捉えられても仕方がない行為だと、議会内から強い異論が続出したためです。

執行部から取り下げの打診が入るまで、何度も話し合いを行いました。そして、このお金の使い方には納得がいかないとする結論になり、減額修正案を提出することにしました。自民党も同様の意見となるらしい等の情報がありました。

一度提案した予算案を削減するのは大変な決断です。自分はマスコミ各社に対し、「予算の取り下げは賢明な選択だったと思う。同じ内容を再提案するのではなく、南ヶ丘ニュータウン全体の将来像、秋田市の街づくりの整合性を示して欲しい」とコメントを発表しました。



### 会派いぶきが「モメタ?」

会派いぶきでは、農林水産副委員長ポストを巡り一波乱ありました。3人の誰もが「やりたい」と名乗りをあげないのです。ポストを巡った争奪合戦はよく聞く話ですが、全く逆の現象を体験しました。常任委員会の委員長・副委員長は、委員会の進行役とその補佐役です。つまり委員の発言を促す役どころ。ところが自分を含め、いぶきの各自は、とにかく発言したがる傾向にあります。協議を重ねて、会派副代表の京野議員が着任することになりました。



結果、いぶき、公明、共産、民主、社民、自民、みらい21の一人の賛同で同案が可決となったものです。自分は委員長報告を尊重しながらも、決議は議会議員全員がその賛否に関わることから、議会の意志がより一層明確に表明できるものだと考えました。反対や退席はありませんでしたが、議会の意志として同案が決議された意味は重く、県に強く子育て支援の充実を求める今後の活動の足がかりになるはずと見えています。

## 辻議長・土谷副議長が誕生 自分は商工労働委員会へ

事業(121万円)、大王製紙控訴経費(3466万円)、あなたの会社流子育てサポート推進事業(206万円)、齊内川河道計画策定事業(8400万円)、算数・数学学力向上推進

事業(320万円)、学校活性化スパーアドバイザー活用事業(462万円)など。さらに詳しく知りたい方は、ご面倒をおかけしますが門脇事務所までお問い合わせください。

### 会派いぶきが3人に

●建設委員会 専門は空港、道路、河川、砂防など  
原 盛一(自民)

●農林水産委員会 専門は農林水産、食糧・食品など  
京野 公子(副委員長) いぶき 安杖 正義(自民)

子育て支援の充実を決議  
自分が本会議に提案した「子育て支援対策」の充実に関する決議案が賛成31反対9、退席6で可決しました。内容は次の2項目です  
①乳幼児の福祉医療制度の一層の充実・強化を図る。  
②基幹的位置付けとなる「子育て支援対策」の財源的裏付けや効果を十分に検討し、県の姿勢を明示する。  
いぶきは県が補正予算案で明らかにした乳幼児福祉医療費無料制度の見直し(一部自己負担金を課せようというもの)に反対し、予算の減額修正案を準備しました。しかしこれを行えば、0歳児への原則無料制度の予算4500万円もなくなってしまうと、そこで決議案を提出することにし、草案づくりを諸会派(いぶき、公明、共産)が中心となって行いました。  
実は、子育て支援を所管する福祉環境委員会でも、同じような内容を委員長が本会議に報告することが決まっていた。そのため、みらい21は本会議で決議案を可決する必要はないと10人中1人を除いて反対、新生会も6人全員が退席しました。  
結果、いぶき、公明、共産、民主、社民、自民、みらい21の一人の賛同で同案が可決となったものです。自分は委員長報告を尊重しながらも、決議は議会議員全員がその賛否に関わることから、議会の意志がより一層明確に表明できるものだと考えました。反対や退席はありませんでしたが、議会の意志として同案が決議された意味は重く、県に強く子育て支援の充実を求める今後の活動の足がかりになるはずと見えています。



# 秋田の指針

シリーズ・創造的な産業の育成

# 次の世代へ



電気モーターを製造する栃木県のメーカー



全国の優良食材で高品質の食品を加工販売

自分は商工労働委員会の所属となりました。向こう2年間、雇用対策に取り組み、職場づくりや起業支援などに渾身の努力を傾注します。

## 電気自動車づくりへの挑戦

約3万部品からなる工業製品です。それだけ人の手が必要だと言うことです。あきた企業活性化センターの取り組みで6月に燃料電池の講演会や、リチウムイオン二次電池・電気自動車のモーターの歴史と今後についての講演会が開催されています。自分自身では、既にハイブリット車を販売している企業の代表の方との面談や、栃木県の電気モーター製造会社を訪ねました。

慶應義塾大学と民間企業30社以上が参加する、電気自動車製造プロジェクト「エリーカプロジェクト」は有名です。ガソリン車を上回る走行性能を持った電気自動車の開発を目指し、2008年には少量生産に乗り出す計画のようです。

このエリーカは元F1ドライバーの片山右京氏の運転で、ストレートコースで最高時速370・3キロメートルを記録しました。このような高性能車はそれとしても、安価な夜間電力をバッテリーに蓄電した生活車、通勤車、お買い物カー、福祉車などなど、電気自動車の普及に期待が高まっています。さらに研究を続けたいと思います。

## あきた企業活性化センターをご利用ください

あきた産業振興機構に県マーケティング室、技術移転促進チーム、企業支援センターを機能統合して今春誕生しました。

【相談を受ける組織体制】  
 《総務企画グループ》センターの総務部門です。  
 《営業統括グループ》一貫した支援体制が自慢（弁護士、司法書士さん等もいます）です。  
 《事業推進グループ》資金相談、技術相談、研究機関と連携した商品開発をサポートします。

【センター補助事業の状況】  
 経営改革総合支援事業（フェニックスプラン21）  
 中小企業の経営革新を促進することにより、企業競争力を強化し、県内企業の持続的発展と雇用の安定を図る事業。総合支援で700万円を限度額として3年間継続補助。★募集は7月1日～7月29日まで  
 産学官技術開発実用化事業  
 試験研究機関と共同研究契約を結び経費の一部を助成。補助率は2分の1以内、補助金額1,000万円（課題解決的テーマは150万円）。★募集は7月1日～8月31日まで  
 独自の創業支援事業  
 新企業創出に要する経費の一部を助成。補助対象となる経費の2分の1で、50万円を下限として最高300万円まで。★募集は7月1日～8月31日まで

※お問い合わせは、電話018(860)5610へ

秋田に新産業の育成は何としても必要です。雇用力の増大・定住化、少子化対策が機能し始めれば、必ず農業も元気を回復できます。それで新事業の立ち上げや既存企業の強化に走り回っています。

ところで、県では自動車関連産業育成事業として、6月補正予算に259万円を追加しました。自動車は

## 山形県産ナショナルブランドの取り組み

7月上旬、山形県の高島町にあるセゾンファクトリーと言う会社を訪ねました。ここは質の高い農産物を原料にドレッシングやジャム、デザート、ジュースなどを作る会社です。社長の齋藤明彦さんへのインタビューから印象に残ったお話を紹介します。

「創業は1988年。仲間達10人でブレハブ小屋から始めた。今期の売上は25億円が目標。現在は大都市に10店舗の直営店がある。加工用の農産物ではなく、全国から最高品質で生食に流通するものだけを原料に使用している。商品数は720種類あるが実際に売っているのは200種類ぐらい。日常食べるものは大抵最高品質の原料と、それを使った100%手づくりの商品だ。「ハレの日」用の買物をするときに手が伸びる商品。サンダル履きでは多分買わないだろう。少しオシャレをしてモチベーションを高めて、良いものを買いたい時がある。そんな行為を直営店はムードから演出している。地域が大切に育てた食品をどんな風に見せるか、そして買っていただくか。山形の名物・名産と言う形ではなく、生活スタイルから提供し、文化と感動を売るナショナルブランド

「ドになりたい」と思っている」と…。参考になる言葉とたくさん出逢いました。秋田にも多くの自慢があり、それをどう活用して経済活動を行うか、秋田県も具体的に動き出さなければいけません。



お話しいただいた齋藤明彦社長

## 7月 門脇みつひろ あきた県政懇談会日程

恒例となった「あきた県政懇談会」を開催します。毎県議会終了後に各地で開催していますが、今回お伺いするのは次の6箇所です。県議会の様子をお伝えしながら、参加いただく皆様からご意見を頂戴し、次の議会に反映したいと思います。日頃お考えになっているご意見や相談事など、何でもお受けします（その場でお答えできない場合、お手紙などで後日回答します）。どうぞお気軽にご参加ください。

- 7月24日(日)午後6時～●田沢湖町田沢地区コミュニティ館(旧田沢小学校)
- 7月27日(水)午後7時～●大仙市神岡福祉センター
- 7月28日(木)午後7時～●美郷町六郷公民館
- 7月29日(金)午後7時～●大仙市太田公民館
- 7月30日(土)午後7時～●西木村紙風船館
- 7月31日(日)午後4時～●角館広域交流センター

皆様のご意見をお待ちしています。電話0187(52)5188 FAX0187(52)5189まで

●秋田県議会「会派いぶき」  
 〒010-8570 秋田市山王4-1-1 秋田県議会棟内  
 電話018(860)2094 FAX018(860)2105

●門脇みつひろ事務所  
 〒014-0612 仙北郡西木村上荒井字新屋10-1  
 電話0187(52)5188 FAX0187(52)5189  
<http://www.kadosan.com/>  
 メール info@kadosan.com

●京野きみこ事務所  
 〒012-0626 湯沢市榎町1-3-11  
 電話0183(78)1555 FAX0183(78)1557  
<http://www.han-chan.jp/>

●淡路定明事務所  
 〒011-0942 秋田市土崎港東1丁目2-79  
 電話018(847)1915 FAX018(847)1914  
[http://honepage2.nifty.com/awaji\\_gikai/](http://honepage2.nifty.com/awaji_gikai/)

県政報告  
 「会派いぶき活動レポート」  
 仙北編9 2005・夏  
 発行者：秋田県議会会派「いぶき」  
 代表 門脇 光浩